

第47回
荒川区政世論調査
《報告書》

令和5年1月
荒川区

はじめに

荒川区では、「区政は区民を幸せにするシステムである」というドメイン（事業領域）の下、区民一人ひとりが真に幸福を実感できるまちを目指し、さまざまな施策を積極的に展開しております。

区政運営のための指針づくりや、施策を行う上で大切なことは、区民の皆様の意見・要望を適切に把握・分析した上で、区民が真に望む区政を運営していくことです。そのため、区では、世論調査をはじめ、区民の声（手紙、電子メール、FAX等）、あらかわ・Eモニターなどの各種広聴活動を積極的に実施しています。

今年度の世論調査では、「居住と生活環境」「広報活動」「デジタル化の推進」「防災対策」「芸術文化活動」「健康づくり」「スポーツ振興」「公園利用」「マンション」「区政への関心と要望」の10項目について伺いました。

この調査によって得られた結果は、すべての区民の皆様に幸福を実感していただける、よりよい区政運営のための基礎資料として活用してまいります。併せて多くの皆様に参考にしていただければ幸いです。

おわりに、この調査にご協力くださいました区民並びに関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

令和5年1月

荒川区区政広報部秘書課

目 次

I	調査の概要	1
II	回答者の属性	7
III	質問と回答	13
IV	調査結果の要約	31
V	結果と分析	39
	1. 居住と生活環境	41
	(1) 居住年数	41
	(2) 定住意向	43
	(2-1) 住み続けたい理由	46
	(2-2) 転居したい理由	47
	(3) 住みよさ評価	48
	(4) まちづくりを進めていく上で重要な課題	51
	2. 広報活動	53
	(1) 区政に関する情報の入手方法	53
	3. デジタル化の推進	59
	(1) インターネット利用に使用した情報機器	59
	(2) 行政手続きのデジタル化でサービス向上を期待するもの	61
	(3) サービス向上を期待する分野	64
	(4) 行政サービスを利用する上での不安解消のために区が行うべきこと	69
	4. 防災対策	74
	(1) 災害時に備えた食料や飲料水の備蓄	74
	(1-1) 災害時に備えた備蓄の量	78
	(1-2) 備蓄を行っていない理由	81
	(2) 家具の転倒・落下防止	84
	(2-1) 家具の転倒・落下防止器具の未設置理由	87
	(3) 感震ブレーカーの設置状況	91
	(3-1) 感震ブレーカーの未設置理由	95
	(3-2) 感震ブレーカーの設置意向	98
	5. 芸術文化活動	101
	(1) 芸術文化活動、芸術文化鑑賞の有無	101
	(1-1) 芸術文化活動を行った方法	104
	(1-2) 芸術文化を鑑賞した方法	106
	(1-3) 芸術文化活動、芸術文化鑑賞を行わなかった理由	109
	(2) 区の芸術文化で特色のある分野	112
	(3) 区の芸術文化の振興のため充実させるべきもの	114
	(4) オンラインによる芸術文化の鑑賞や講座の受講等への興味	117
	6. 健康づくり	120
	(1) 健康状態	120

(2) 健康維持のため気をつけていること	121
(2-1) 運動やスポーツの頻度	123
(2-2) 健康に気をつけるようになったきっかけ	125
(3) 食生活での意識	130
(4) 「あらかわ満点メニュー」の認知度	132
(5) ロコモティブシンドロームの認知度	134
(5-1) ロコモティブシンドローム予防のために必要な生活習慣	136
7. スポーツ振興	138
(1) パラスポーツへの関心	138
(2) スポーツボランティアへの関心	141
8. 公園利用	144
(1) 公園利用の頻度	144
(2) 公園を利用する目的	147
(3) 新しい公園に欲しいと思う機能	151
9. マンション	155
(1) 建物の老朽化対策の有無	155
(2) 集合住宅の管理・修繕に関して感じる不安	158
10. 区政への関心と要望	162
(1) 区政への関心	162
(2) 区政への意見・要望などの伝達方法	165
(3) 今後、区に力を入れてほしい事業	167
VI 自由記述	175
VII 集計表	199